

第7回九州沖縄経済圏スマートフードチェーンプロジェクト
事業化戦略会議の開催について

1. 趣 旨

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下、農研機構という。）は、2019年のプロジェクト発足以降、各研究課題について共同研究機関等と研究の進展を図るとともに、九州沖縄経済圏の農業・食品産業界等のニーズを確認し、新たな研究課題のテーマについて協議を重ねています。

これらの活動結果について皆様にご報告する場として、「事業化戦略会議」を以下のとおり開催致します。

2. 開催日時：令和7年11月12日(水) 13:00～17:00

3. 開催場所：パピヨン24ガスホール
(福岡県福岡市博多区千代1丁目17-1)

4. 開催方法：会場200名（先着順）及びオンライン配信

5. 主 催：農研機構

6. 後 援：一般社団法人九州経済連合会、農林水産省九州農政局、経済産業省九州経済産業局、
内閣府沖縄総合事務局

7. 内 容

(1)主催者挨拶 13:00～13:05
農研機構 理事長 久間 和生

(2)来賓挨拶 13:05～13:20
一般社団法人九州経済連合会 会長 池辺 和弘
農林水産省九州農政局 次長 本田 光広
経済産業省九州経済産業局 局長 星野 光明

第一部 九州沖縄経済圏スマートフードチェーンプロジェクトの取組みと成果

(3)九州沖縄経済圏スマートフードチェーンプロジェクト成果の事業化と
輸出拡大に向けた農研機構の取組み 13:20～13:35
農研機構本部 総括執行役 兼 事業開発部 部長 田中 健一

(4)各課題研究成果の説明
1) サツマイモ基腐病対策技術 13:35～13:50
農研機構本部 総括執行役 兼 植物防疫研究部門 所長 大藤 泰雄
2) 収量向上による国産大豆の安定供給化 13:50～14:05
農研機構 九州沖縄農業研究センター 所長 澁谷 美紀

- | | |
|--------------------------------|-------------|
| 3) 牛肉輸出拡大に向けた生産基盤強化技術開発 | 14:05～14:20 |
| 農研機構 畜産研究部門 所長 石井 和雄 | |
| 4) 緑茶新品種「せいめい」の産地形成と高品質・安定生産技術 | 14:20～14:35 |
| 農研機構 果樹茶業研究部門 所長 草場 新之助 | |
| 5) 質疑応答 | 14:35～14:50 |

～～ 休憩 (25 分) ～～

第二部 特別講演及びパネルディスカッション

- | | |
|------------------------------------|----------------------------------|
| (5) 特別講演 | 15:15～15:45 |
| 日本農業の現状・課題・可能性 ～農業を成長産業にするために～ | |
| 株式会社三菱総合研究所 研究理事・食農分野連携推進本部長 稲垣 公雄 | |
| (6) パネルディスカッション | 15:45～16:55 |
| テーマ：企業との連携による儲かる農業の実現 | |
| ～産業界と共に創る持続可能な農業の未来～ | |
| モデレーター | 農研機構 理事 森田 敏 |
| パネリスト | 株式会社三菱総合研究所 |
| | 研究理事・食農分野連携推進本部長 稲垣 公雄 |
| | 株式会社日本農業 代表取締役CEO 内藤 祥平 |
| | 双日農業株式会社 代表取締役 本田 欣之 |
| | 南信州菓子工房株式会社 取締役 製造部長 宮島 清治 |
| | 株式会社筑邦銀行コンサルティング本部金融コンサルティンググループ |
| | 主任調査役 永松 寿夫 |
| | 農林水産省九州農政局 次長 本田 光広 |
| (7) 閉会挨拶 | 16:55～17:00 |
| 農研機構 理事 山田 広明 | |

8. ポスターセッション 17:00～17:30

閉会后、プロジェクト課題毎に担当研究者が会場で直接ポスターを用いて、事業化に向けた取組みについて説明します。また、ポスターセッションの際には、会議参加者間での名刺交換のお時間を設けておりますので、ご興味のある方は是非ご来場下さい。

なお、ポスターセッションの様子に関しましては、オンラインでの配信は行いませんので、ご了承願います。

9. 事務局（連絡先）

農研機構九州沖縄農業研究センター 研究推進部事業化推進室 つる た た さ き 霍 田 ・ 田 崎
 Tel. 096-242-7540、7559 Fax. 096-242-7543
 e-mail : sh-q-sfc@naro. go. jp

※内容が変更になることもございますので、予めご了承願います。